

第14回「良順教育賞」の授与式が執り行われました

令和4年3月9日（水）に第14回「良順教育賞」の授与式が本学医学部ポンペ会館で執り行われました。

ポンペと共に長崎大学医学部の創立者である松本良順の名を冠したこの賞は、医学教育で優れた実績を有する教員等に対し、その功績をたたえるもので、平成20年度に設けられ、今回が14回目の授与式となります。

今回受賞された、長崎大学 生命医科学域（肉眼解剖学） 佐伯 和信 講師は、1987年（昭和62年）に着任後、解剖学教育の質的向上のため、ICTの導入や更新など時代に応じた教育環境整備、カリキュラム改変に伴う解剖学教育体制の整備や維持に尽力し、約35年間にわたり、本学医学部の肉眼解剖学教育に多大な貢献を果たしてきました。

表彰を受けた佐伯講師からは、受賞の喜びが伝えられたほか、今後もより一層医学教育に邁進したいとの言葉が述べられました。



医学部長から表彰状を授与される佐伯講師



受賞の挨拶を述べる佐伯講師



肉眼解剖学教室

（右から）

推薦者の弦本 敏行 教授

佐伯 和信 講師

高村 敬子 助教